

NPO 法人ネパール・ミカの会 2013年 中間調査報告

期間：2013年10月1日～10月9日

調査会員：ヌルブ・ラマ 加藤誠一

訪問順既支援校及び支援候補校

2013.10.02

1. シリ・マズワニ小学校・中学校・高校
国際ソロプチミスト町田一さつきの感謝の手紙を預かる。
マズワニ高校生に制服 出席 84 人欠席 4 人 合計 88 人
ノートをプレゼント。
要望：正面のゲート
2. ビバルハワ小学校
2011年3月ひろしま祈りの石助成金で建設。
要望：図書館の建設
3. ジャナヒート小学校
支援を受け建設中の教室が途中で援助打ち切りのため基礎工事のみ完成
村の予算で建築中の2教室が予算打ち切りで内装を残して中断、使用不可。
要望：完成させて図書館か中学校にしたい。概算 50 万ほどで内装、椅子、机がそろおう。
4. ティナウ小学校・図書館
図書館には何も無く、機能していない。
要望：図書、ラック、椅子、机。 女子用のトイレ
5. ギャノダヤ小学校
支援希望校の一つ。
要望：図書館新設
6. サラソティ小学校
学校建設決定校です。広い敷地で良い環境にあります。皆さん期待しています。
校舎の色はグリーンを希望。
小学1年生と2年生にノートをプレゼントする。
7. シリ・シッダルタ小学校・中学校
要望：図書館新設

2013.10.03

8. シリ・アマリ小学校
補修が必要。ペイント、シロアリ。建設中の校舎あり、国からの予算が無くなって中
断。
要望：300,000 ルピーで使用可能になる。
9. シリ・マヤデビー小学校
2009年建設の校舎は奇麗に保たれています。
要望：敷地の塀
10. パダリア小学校
未支援校。224名の児童で女子が多い。
要望：制服、ノート等の学用品。図書。トイレなど。

11. シリ・アデアリ小学校
教員室、図書室とても奇麗に維持されている。来年から高校も開校予定。
要望：現在の校舎の上に 3 教室増築したい。柵とゲート。
12. シリ・シリ・ラム小学校
要望：現在の建物を改装して図書館にしたい。図書と椅子、机
13. シリ・スンディー小学校・中学校
ソマイ・プラサド校長退職予定。小学校・中学校で 710 人。
要望：図書館。校舎の補修、窓枠、ペイント、床など
14. シリ・ヤナトラハ・スクール
約 800 名が通学。電気も有り扇風機が回っていました。
要望：既存の建物を図書館に改装したい。
15. ルカダハワ小学校・中学校
700 名通学。土地は広いです。来年高校一年生を迎える。
要望：教室建設
16. シリ・ルンビニ小学校
要望：教員室の上に教室建設。概算 300,000 ルピー。
図書館新設

2013.10.04

17. シリ・グルワニマイ小学校
四葉会図書館。時計は故障、アクリル板破損。電気あり。
要望：図書、TV
18. シリ・パダサリ小学校
未支援校。校庭広い。
要望：教室建設

特記：

マズワニ高校の制服支援が間に合い、嬉しそうな高校生に会えました。

15 のルカダハワ小学校・中学校では先生に会えず基本調査票を貰えませんでした。
他の 17 校は全校提出してくれました。

すべての学校の所在地を GPS で測定して来ました。

ノートですが、業者の手違いで修正前の状態で印刷されてしまいました。
印刷された一部（180 冊は手荷物でルンビニに運び、手渡ししました。残りはミカの会の
指示待ちです。

元ヤナトラハの校長先生が選挙に立候補します。

ブダ・マーヤー・ガーデンズホテルでマズワニ高校卒業生が元気に働いていました。

他団体の支援は一段落してしまったようで支援要請は益々増えると思われます。

二泊した笠井ホテルはバスタブ付きウォッシュレットトイレでとても快適でした。
和食も、パンもおいしいです。

NPO 法人ネパール・ミカの会 2013年 中間調査報告

期間：2013年10月1日～10月9日

調査会員：ヌルブ・ラマ 加藤誠一

2013.10.04

タンセン懇談会

● Millennium Higher Secondary School にて懇談

チョレシヨル・シャルマン氏 元大学学長
タンカ氏 大学国語教授
ビヌス・プルサード・ギャワリ氏 大学数学教授
アディテ・カナール氏 会計

いままでの図書支援に感謝します。率直に意見を伝えました。
御陰で特別支援がなくとも大きな支障は無くなった。ですから支援の内容はミカの会にお任せします。交流は続けていきたいものです。
要望の図書リストが遅くなっているのはある意味遠慮？微妙な判断です。

● モホン女子校

ダサインの直前でもあり学生の姿は有りませんでした。学長さんとは会う事が出来図書支援に対して感謝の言葉を受け取りました。また奨学金等の支援が有ると嬉しいと言っておりました。

● ナグロレストランにて

ケサブラズ・シャルマ氏 トリヴァン大学マルチプル学長
タンカプルサード・パンタ氏 トリヴァン大学マルチプル副学長

図書支援に対して感謝の言葉を頂きました。あたらしくビジネスマネージメント科（4年間）を新設するので図書の支援は有り難い。
世界標準である16年にして行く。10+2 大学4年 合計16年。

10+2の前まではネパールの暦の正月（4月？）に進級。

10+2からは7月（6月がSLCの発表）

従って高校から10+2に進学する場合3ヶ月ほどブランクが有る事になる。

ネパールでは選挙が行われようとしています。その影響でどの期間も非常に退廃的で何も決められないという雰囲気があります。学長でさえ無気力感があります。大学内は勉強しない学生で溢れ、政治活動をキャンパスに持ち込んでいます。キャンパス内に政党の看板が立ち、政党を指示する学生の事務所まであります。学生のグループは進学希望者の入学の許可権まで行使するそうです。ルンビニと比べ更に格差が広がっていて経済的には豊かに見えますが、混沌とした社会になっています。優秀な人材は国を出て行きます。残る人たちは空白の無駄な時間を過ごさざるを得ないと自覚しています。不幸な事です。